

行政 トピックス

いざという時の被災者支援 企業・団体と連携して実施

―物資供給協定書合同調印式―

「南丹市大規模災害時等における物資供給に関する協定書」の調印式を8月31日、市役所で行い、市と市内で操業する13の企業・団体が協定を締結しました。この協定は、大規模災害時などに各企業・団体が市の要請に応じて、取り扱



▲代表で協定書に署名する(株)井筒八ツ橋本舗津田社長(左)と佐々木市長(右)



▲各企業・団体の出席者と理事者

う食料品や生活用品などの物品を市に供給するもので、代金などは市が全額負担します。有事の際、迅速に被災者の支援にあたる体制が整いました。出席された各代表者は、「地域密着型の企業を目指している。有事の際は全力で協力したい」などと市民にとって心強いあいさつをされました。

今回、市が協定を締結した企業・団体は次のとおりです。

協定協賛企業・団体

- (株)井筒八ツ橋本舗、(株)Aコープ園部、男前豆腐店(株)、京都農業協同組合、(株)湖池屋、NPO法人コマリ災害対策センター、(株)仙太郎、(株)ダイコー、(株)虎屋、南丹市商工会、日本ミルクコミュニティ(株)、(株)伏見屋、(株)マツモト

尊い犠牲に誓う平和の実現

―南丹市戦没者追悼式―

10月19日、美山文化ホールで平成22年度南丹市戦没者追悼式を挙行。遺族など約300人が参列し、先の大戦により犠牲になられた南丹市出身者の英霊1,886柱に黙とうをささげました。南丹市遺族会を代表して杉尾輝和副会長は「今日の平和と繁栄はご英霊の犠牲の上に築かれたものであることを次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に貢献します」と清水隆会長の追悼の言葉を代読されました。その後、参列者全員が献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。



▲戦没者をしのんで参列者一人一人が献花

自分の町を良くするしくみ 大事にしたい助け合いの心

―市共同募金委員会設立委員会―



▲会長に就任しあいさつする佐々木市長

南丹市共同募金委員会設立委員会を9月15日、市役所で開催し、区長会や福祉団体の代表が出席しました。この委員会は、共同募金運動の透明性と情報公開、寄付者の意思を尊重した組織づくりを旨として各市町村で設立が検討されており、南丹市が府内初の設立となりました。会長に佐々木市長を選任し、各委員に委嘱状を交付。議事では、赤い羽根共同募金(10月)と歳末たすけあい募金(12月)の一括実施などが決定されました。